

「〇〇における△△が□□に与える影響」

2421 致遠館太郎 2501 佐賀花子 2522 葉隠太郎 2533 藤原花子

自分達の班の分野以外を消去して、班の番号を入力します。共創は一緒に実施している分野の色を指定します。フォントやテキストボックスの大きさを変えずに、ポスターの右上（この場合は数1の位置）に配置します。

数1

物1

化1

生1

共1

要約

※この部分を読んでもらうと、「何のために、どのような検証をし、何が分かったか」が分かってもらえるように書く。つまり、ポスターの全体像を書くので、この部分は最後に書くことになる。
 ※様式：フォントMSゴシック、文字の大きさ10.5ポイント（ポスター印刷で読める文字の大きさ）
 ※「…だが、…なので、…を明らかにするため、…の最適値を調べた。」は長すぎる。文を切って短くする。

目的

〇〇において、△△が□□に及ぼす影響が最も大きくなる条件を明らかにする。
 ※目的は「仮説・理論」「考察」と必ず対応させて書く。

実験2（方法）

先行研究・理論

過去の研究では、▽▽による影響の条件は明らかとなっているが、△△による影響の条件が不明である。
 ●●は「・・・」、◆◆のしくみは「・・・」と定義する。
 ※研究の前提となる用語やしくみの定義を必ず説明。

仮説

〇〇において、△△を変化させると、△△が◎◎の場合、□□に及ぼす影響が最も大きくなる。
 ※模式図を使用すると分かってもらいやすい。

△△を変化させる



□□への影響が最大

実験2（結果）

実験1（方法）

〈条件Aの場合〉

- ①□□に△△を1mLずつ量を変えて加えて、それぞれ5分間静置した。
 - ②
 - ③
 - ④それぞれの□□に生じた☆☆をろ過して、乾燥させ、質量を測定した。
- ※方法は過去形で書く。
 ※箇条書きで簡潔に書く。
 ※写真を使用すると、研究の様子が分かってもらいやすい。

実験装置や実験による変化の様子などの写真

テキストボックス（四角の枠）の中にカーソルを持ってきて、表計算ソフトからのグラフや表をコピー＆ペーストすると、グループ化（複数の図形をまとめる操作）ができません。テキストボックスでない部分にいったんグラフや表をコピーした後に、その図形をテキストボックスに移動させましょう。

実験1（結果）

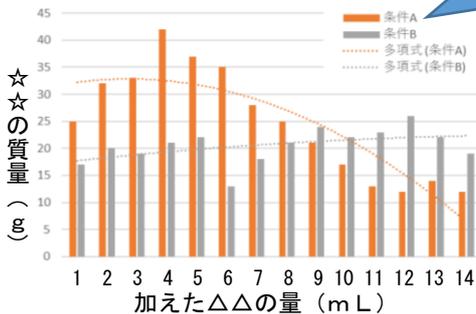


図1

条件Aでは、☆☆の質量は、△△が4mLのときに最大になった。5mL以上では、徐々に減少した。
 ※結果は過去形で書く。
 ※グラフにはX軸とY軸の要素を書く。下に図1と書く。
 ※考えは書かない。事実を書く。

考察

- ①実験1から、〇〇において、△△が□□に及ぼす影響は、△△が4mLの場合に最大になると考えられる。よって、△△が◎◎の場合とした仮説は否定された。
- ②
 ※考察は現在形で書く。箇条書きで簡潔に書く。
 ※結果に書いた事実に基づき、考えられることを書く。
 ※「目的」と無関係な思いつきは書いてはいけない。

まとめ・展望

- ①
- ②
- ③
 ※考察を総合して得られた知見を書く。
 ※仮説が否定された場合、その仮説を検証するための他の条件や方法あるいは別な仮説については、今後の展望としてこの欄に書く。

謝辞 本研究にあたり、〇〇大学〇〇学部 〇〇 〇〇〇〇先生に多くのご助言をいただいたことに深く感謝申し上げます。
 ↑所属、職名、お名前は、高校の先生に尋ねて書く。

引用・参考文献 著者氏名(発行年).「書名や論文のタイトル」. 出版社や雑誌名. 号数. ページ
 作成者(公開年). Web ページのタイトル. URL. 自分がアクセスした年月日